京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金廾五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

寄書

南大門外より停車場迄を

煉瓦家に改築の議

源子投

今般は先日內部土木局及理事廳漢城府等に於て南大門外より停車場に至る間の道路を取り擴げるか又は新たに大道路を設くるかの說あるを聞き其の最も時機に適する計畫なるを竊に悅びたり然るに其後に於て果して其計畫を進めつゝあるや否やは之を確知せずと雖も苟くも首要都市の停車場より其都市に入るべき道路及建物にして迂餘曲折陋隘汚穢なるが如きは實に其の都市の不面目なるのみならず其都市行政者の耻辱たりと信ず譬へば個人の住家にせよ其玄關先きの汚穢にして掃除の行屆かざるを見るものは何人と雖も其家の主人公の不行屆と其家庭的行政の紊亂を連想せざるものあらんや停車場より其の都市に入るべき通路は實に其都市の表玄關たり今南大門停車場より京城に入るの道路たる南大門外の道路を見よ[illegible]よ二三を除くの外は矮屋陋舍相櫛比し不潔を極むるの點に於て殆ど豚小屋を並ぶるに均し吾人は玆を通過する每に都市の面目として實に汗顏を禁ずる能はざるなり市當局者は果して何等の感想を起こさゞるや

故に吾人は過日內部土木局に於て此間の道路を改修するの議あるを聞き空谷に跫音を聞くの思ありき不日必らず其の着手を見るべきを期待す

而して此の道路改修若しくは新設を好機とし吾人は當局者に向て大に勸告したき一議あり、何ぞや曰く南大門より停車場に至るの改修大道路の兩側に官營にて高壯なる煉瓦家屋を建て連らね以て都會の入口を壯麗ならしめ東京に於ける銀座街の如き觀を呈せしむるにあり吾人は元來京龍合併して一大都市の發展すべきを見越し官營にて十五間道路の左右に廣壯なる煉瓦家屋を建設し以て他日此兩市街の中間區たらしむるを希望するものなり然れども斯の如き遠大の計畫は到底[illegible]の俚耳に入るべきにあらざるを以て此際小規模ながら前議を提出し以て當局者の一考を煩はさんと欲す

出來の曉には入札拂を以て拂下ぐるも可なり又賃借を許せずんば家賃を取るも可なり僅々短區域なるを以て決して借手なきを憂へざるなり而して之れを建築するに於て最も便宜なるは支度部に於て煉瓦製造所を有し生產額多の爲め煉瓦の捌口に困り居るとの事なれば之を官營とするに於て一擧實に兩得たり都市の美觀を添ふる上に於ては當局者たるものは多少の犧牲を辭せざるの覺悟なかるべからず彼の銀座街改築の議ありし當時に於ても紛々たる反對說ありき而かも英斷を下したる結果今日に於ては銀座街は東京の一の誇りと成り居るにあらずや（勿論時世の進步非常なる今日に在ては餘り立派なる誇りにはあらざれども）或は云はんそんな算盤玉に合はざる事業を爲すの愚者なしと夫れ然り然れども一にも算盤二にも算盤と云ふは之れ營利業者の事のみ一個人若くは營利業者の算盤玉に合はずとして着手せざる事業にして公共の利益たらば進んで之を爲さゞるべからず況んや京城二十萬の人民は多少の犧牲を拂ふも此の表玄關の裝飾を辭するものにあらざるに於てをや當局者一英斷を施して吾人の提議を實行するの勇なきや數年を出てずして世人は必らず當局者の英斷を歎賞し紀念碑位は必らず建設することあるべきなり

雜報

北韓窮民の近狀

北韓地方に於ては昨年の凶作により細民窮乏の情態に陷ては既に報せし處なるが尙ほ最近其筋に達したる所管警察の報告によれば平安北道中最も困乏の酷しきは同管內江界警察署管內にして其情況は左の如し

▲江界郡は比較的田畑多き爲め昨年の凶作に對しても目下の食糧に缺乏を告る事なかるべし▲慈城郡は本年の收穫前約三箇月間に於て韓斛にて約六百斗の不足を生ずべし▲厚昌郡は耕地寡く例年江界慈城兩郡より米を仰ぎつゝありしに本年は其兩郡共凶作にて輸入杜絕し收穫前二箇月間には約二萬斗の不足を見るべく殊に七月頃に到らば住民の窮狀は慘酷の極に到らん

是に於て該地警察署は面長等に諭し富有者貯藏穀類を本年の收穫期迄貸與せしむるの方法を講じつゝあるが當局に於ても救濟國急の策を圖り新政厚德の實を示さん意向なりと

韓國米の有望

神戶商業會議所の調査にかゝる昨年度の韓國輸出米の價格と日本米の價格比較は一石に就き

		上半年		下半年
韓國米	上	一二、三〇〇	上	一〇、六〇〇
	中	一一、七〇〇	中	一〇、一〇〇
	下	一〇、九〇〇	下	九、一九〇
日本米	上	一四、〇五〇	上	一一、八七
	中	一三、二〇四	中	一一、三二三
	下	一二、九六六	下	一〇、八二三

にして韓國米は品質に於て敢て日本米に劣らずと雖も小石粃等の混交するありて自然價格は二圓內外の下位を示しつゝあり然れども近年調製法漸次改良せられたる結果聲價大に高まり日本米中最下格のものは遠く及ばざるの狀態にして殊に本年は歐米市場へ韓國米の販路擴張せられ前途頗る有望なり

棉花協會と全南

（幹部代議士の視察談）

棉花の栽培事業は今や國家的大問題となり世界各國は競ふて之れが栽培を奬勵するの方針を講じ互に相遲れざらん事を期しつゝあると共に我が帝國政府が曩きに議會の建議を容れ棉花協會を組織し協會の評議員としては政黨各派の有力者及び重なる棉花業者又は各地方の有力者を以つて之れに充て同協會の力に依り陸地棉の栽培地を韓國に需め目下韓國農商工部と力を合せて栽培事業の獎勵に盡瘁しつゝあるは世の熟知する所なり而して斯かる世界的事業たる棉花の栽培が特に韓國に適し就中全南地方が最も陸地棉の栽培に必適せるは大に天下の耳目を惹き棉花協會に於ても益よ力を此の方面に專らならしめんが爲め今回視察員を派出するの議に決し協會幹部役員たる野田卯太郞秋田寅一改野耕三の三代議士及び協會事務員蒲上格の諸氏は來る十八日東京を發し本月下旬京城に入り統監府及び韓國政府と打合せを了し夫れより木浦へ赴くべしと

●木浦棉花總回着高

韓國第一等の棉產地として昨年は殊に豐作なりし事とて昨冬來日々の回着高は莫大なる個數に達し一時は實に木浦埠頭棉花の山を築きたる有樣なりしが出廻りの期節も既に三月限りとして出廻りたるものゝ如く前月中總締高二百二十七個を最終として昨今は殆ど其回着を見ず今之を當初よりの累計に徵する時は實に四萬七千七百六十九個にして二百斤の一個十五圓とする時は此價額七十一万五千五百三十五圓を算す以上は即ち會議所に於て檢査を要したる韓棉の實數にして尙此棉花會社の一手買收になる米棉四十万斤を加ふる時は米棉一個二十圓として八萬圓に達し韓棉米棉を合算せば昨年全南に於ける棉花の產出總價格は實に八十萬圓の巨額となる譯合なりと

●種苗農具配付數

農家の改良發達に資する爲め農商工部にて昨年全國に配付したる種苗は蠶種千七百七十二枚桑苗十萬本果樹苗千五百八十七本燕麥二十石牧草二百五十斤農具は三德鍬七十四挺鶴形稻扱千挺製繩機十九臺普通製莚機四百九十五臺奧野式製莚機五十臺製絲器類は繰操器三百五十三臺同小枠千七百四千九個揚返器十九臺紐製絲器三十七點なりと

俳句

●第九次すみれ集

むら撰

再考

間身にも成て敵へよ雪の鷺　淡水
落葉の見はし師走や小百姓　四樂
絹夜具も一人は淋し嘈千鳥　萩水
水仙や一服ほしき湯の沸り　月哉
水仙や貸き借部か髭のしも　萩水
初日の出子供心に拜しけり　四樂
錢五百なくて氣安き師走哉　笹鼓
難船の帆柱に群る千鳥かな　月哉
稼ぐ身の門に鬼なき師走哉　淡水
小鳥一羽初日目覺て入に晃　春葉

再々考

蕎麥呉ぬ引越もある師走哉　萩水
乳欲と泣兒負ひ行く師走哉　月哉
總昇の赤き毛鵬や雪のみち　同

自句

雪の夜や毛皮入れたる足袋の底
毛皮敷きて水仙の根洗ふ鏥かな

日本銘刀傳

第八十九席

法城寺正弘（十一）

邑井一講演

其內に、月日に關守なく、光陰は矢の如く、五年七年過行くうちに、幸ひが來れば不幸も來る、道歌のうちに「誰が死んだ、彼れか死んだと云ううちに、己が死んだと人に云はるゝ」とやら云うて、順送りに往くのは、仕方のないものであります、綛屋の次郎兵衞はフト病氣になりました、蒼蠅程の醫者浴びる程の藥、神佛の信心やら、手を盡したる甲斐もなく、遂に黃泉へと旅立ました、いくら壽命だ天命だと諦めやうとしても諦らめる譯に往きません、幾三郎やれ勝の歎きは、筆や紙には書盡されん程であります、さて後目には次郎兵衞の伜で半太郎が座ることになりました、所が此の半太郎は半坊〳〵と云はれて、破落戶の群へ入つて居る撥句だから、綛屋の家へ食客と錢貰ひの絕たことがありません、夫れにた出入先きが親父程好くはありませんので、商賣が忽ち暇になりました、けれども當人には少しも感じません、二階へ賭博場を開いて、毎日のやうに博奕が始まります、定廻り（今の高等探偵の如きもの）や同心（今の警部）迄も親父の次郎兵衞以來の付屆けもあるから二三度は默つて見逃しもするが、夫では外の者にも響く道理だから、遂にた手入れとなり、牢の飯を食て出て來たやうなわけで、少しは五郞兵衞町の半坊と、留人仲間へ知られることになつたは、餘り感心した仕儀ではありません、母親は夫を苦にして病初め、親父の葬式や、母親の病氣やらで、段々と入費も嵩んで來る道理ですが、今では是れを返さうと云ふ目的もありませんから何うしても、田町の小間物屋、上總屋幾三郎の所へ持込むより外はありません、然し幸ひに幾三郎も若原へ手一杯にして商賣も繁昌して居りますから、少しは融通も付けてやつて居るのですが、幾三郎の身に取つては、仲々骨の折れることでありませう、其內に頭到五郎兵衞町の家は潰されて終ひ、兄さん風を吹かして田町の家へ這入つて來ると云ふ、狂言の筋書は大抵極つたものです、さア然うなると心配をするのはおかつ計りで、幾三郎は其樣なことには關係はしない、しないだけに猶更此方で氣を付けねばならずと、折々は平太郎に向つて 勝「平さん 平「何だ 勝「何だぢやアないよ、何うするのだね、お前も男ぢやアないか、幾三郎さんの前へも、少しは氣の毒だと思つて具れなければ困る、幾さんの身の皮を剝やうな事をして居ると、一家親類が共倒れになつて了うよ 平「夫れは好い鹽梅だ、然みつてがなくつてよ…… 勝「アラ彼樣事を云つてさ、夫ぢやア幾さんに濟まいよ 平「馬鹿を言いねエ、全体俺の親父が世話をしたから、幾るんだつて此の江戸に居られるのだ、夫れを考へて見たら、假令此の身代を潰したからつて、別に濟の濟ねのと云ふ譯はねヱさ、だが何うだ俺の理屈に相違あるまい」飽まで理不盡のことを言募りますので、お勝も手の付けやうがなく、今では放ちやりばなしにして置きますので、さア能い事にして每日〳〵大酒を飲み、博奕に負けたと云つては尻拭ひは幾三郎にさせる、偶博奕に勝てば吉原へ往つて流連をして、又々勘定が不足になる田町の小間物屋へ使を出して具れろと云ふ、何に付けても幾三郎の迷惑許りだが、幾三郞も何も由緣だと諦めて居ますから、別に惡い顏もせずに金を出して遣りますが、其の內に半太郎は梅毒で煩ひ始めましたが、業病ですから更に平癒しませぬ、のみならず食事にも氣分にも別段變りはないのですから、言ひたいこと云つて、放蕩三昧にのみ日を暮して居ります、所でお勝は又孕みまして、今度は左の孕みだから、男の子だらうと產婆の見立、其內に半太郎の病氣は益々烈しくなつて鼻の障子は取れる、体中へポツ〳〵腫物は出來る、臭氣で堪らないから、二人の外はみつ、ともなの子供達も傍へ寄らず、何を言つても構ひ付けないから、半太郎は大きな聲で怒鳴る、家內中まるで鼎の沸くが如き騷ぎ。

東京電報

▲上旬の外國貿易

四月上旬の外國貿易は輸出一千二百零四萬一千圓輸入一千一百零八萬八千圓にて前旬に比し輸出九分減輸入九分二厘增加を示せり(十一日夜着)

▲水產協議會の開催

本日農商務省に於て水產協議會を開く(同上)

▲秋月駐墺大使赴任

墺國駐剳全權大使秋月左都夫氏は來る十二日午前八時三十分新橋發列車にて赴任の途に就くべし(同上)

▲人權蹂躪問題消滅

世上の非難高く增俸問題も免く否決せられんと迄せし司法官の人權蹂躪問題は其後平田内相、岡部法相の適宜の調停行はれて今日漸く改善せられん傾向を示し大坂ダイマニー黨の首領天川三殿も僅々三日の拘禁にて保釋せられたる事實を示し人權蹂躪問題も漸次消滅に至るべし(同上)

▲陪審制度と政府

陪審制度新設に關する問題は官僚派の異論多く政友會の建議も到底近き將來に實現せらるべき形勢なかりしが近來政府部内に於て著しく贊成論者生じ司法省參事官大場茂馬氏主として各國の制度を調査しつゝあり或は意外に早く實施せらるゝやも斗られざる形勢となれり(同上)

▲陸軍操典の改正

陸軍敎育總監部にては步兵操典改正に伴ひ騎兵操典、野砲兵操典、工兵操典の改正をなす筈にて調査中なりしが略ぼ脫稿したるを以て近く陸軍省に廻付せらるべし(同上)

▲孤兒の海外渡航

浦鹽航海業者ゼーシー商會店員として派遣に決したる東京、岡山兩孤兒院の孤兒八名は竹村移民會社の取扱にて第二回移民として來る十五日神戶出帆の旅順丸にて渡航に決せり(同上)

歐洲電報

▲露國の極東移民

露國は黑龍江烏蘇里方面に一大殖民地を設くる事に決し今回首相ストリピン氏を議長とせる極東殖民會議を設置したるも其の結果なり(十二日)

北京電報

▲北京各宮の警戒

攝政王邸内に爆烈彈發見後皇城及各宮邸には步軍統領衙門より八百四十名の衛兵を臨時增遣し嚴重に警戒し居れり而して各皇族も軍機處よりの注意にて一切外出を禁じあり(十二日)

▲爆烈彈と獨逸人

攝政王邸内より發見せる爆彈は二個にして一は爆藥ゼラチンを長さ八寸徑六寸の鐵管に裝置し一は長一尺六寸徑五寸の鐵管に爆藥を裝置せるものなり此れが出所に就き精探の結果ゼラチン鐵管は英國製のレッテルを貼付しあるも爆彈は淸人の細工に非ず目下拘禁中の獨逸人が供給せるものなりとの見込にて嚴重に審問中なり尙ほ今日迄に逮捕したる嫌疑者は北京三十九人天津三名上海五名計四十七名に達せり(同上)

雜錄

八雲艦上の午餐會

仁川碇舶中の第二艦隊にては十二日午後在仁の重なる官民及在留外人同夫人其他京城よりはロビンソン氏夫妻石塚長官事務取扱、明石總務長、石井武官等を旗艦八雲に招待して午餐會を開かるゝ筈なり

東拓會社の總會

東洋拓殖會社は來月二十日頃東京に於て第二回株主總會を開催する事に決定し目下營業報告書等の印刷中なりと

農銀の營業現況

度支部所管農工銀行の營業現況を聞くに左の如し

行名	貸出金(圓)	諸預金(圓)	資本金(圓)
漢湖	二五九、八四三	一七四、一〇三	一六四、三五〇
慶尙	一六二、六九九	三五七、〇一三	一六三、〇〇〇
平安	一〇四五、三三〇	三二一、一〇八	一〇六、六三五
全州	三一八、七四四	一〇八、三二四	八四、四〇〇
光州	三五七、四九五	一二六、一五〇	五一、五〇〇
咸鏡	四八一、五三二	一八一、四〇七	七九、八三五

統監邸の招待會

來京中のロビンソン氏招宴は十二日午後七時より石塚長官主催の下に統監官邸に於て催されたるが來賓は左の如し
ロビンソン氏夫妻同令息、米國副總領事グールド氏夫妻、ドクトル、スクラントン氏夫妻、レヴエレンド、コルテス氏、石井少將、明石少將、榊原少將、小宮參與官夫妻、小松參與官夫人、市原韓國銀行總裁、三浦領事館夫妻、津輕囑託夫妻、頭本夫人、池邊書記官、高柳副理事官

京龍合併と龍山

九日三浦理事官が京城龍山兩地民長及議員を召集して京龍合併に關して意見を聽取したるは既報の如くなるが十一日龍山民團議員は民團役所に於て右に關する協議會を開きたり出席者十一名合併を可とする方針の下に竹内、執行、大村、渡邊、兼古の五氏を委員に撰擧し折衝せしむることゝしたりと

民團合併と韓銀

京龍兩民團合併問題は三浦理事官の慫慂により愈々公然の議に上らんとせるが元來理事官の希望は合併は寧ろ小なる問題として必ずしも重きを措かず則ち兩居留地發展の大勢に顧み他に適宜の策を講ぜんとするにありて團債發行は主たる目的たるが如し彼の演說大要中にもあるが如く目下低利の金融界に乘じて五六十万圓の債券を發行し舊債の整理を行ひ更に其資金を以て居留地設備の急務なる道路市街の改修學校の完備市場の開設を始め墓地公園公會堂圖書館其他各種必要事業を經營せんと欲し嘗て韓國銀行へも內々資金供給の交涉を遂げたるに同行に於ても喜むで之に應ずべき意向を洩せるのみならず從來の團債の如き融通不能のものたらんよりは債券形式の好都合なるを贊し居れりと云ふ

●不起訴連累の系統

地方裁判所檢事局の李在明一類に對する起訴結果は別項三面欄の如くなるが今不起訴となれる黨の系統を聞くに

大韓毎日申報會計主任	林炎正
全羅南道天道敎徒	梁漢默
平安南道平壤天道敎徒	吳尙俊
同 上	崔書鉉
大韓毎日新報事務員	李交燮
同 平壤取扱店主	安泰國
平壤大極書館主	宋鍾進
同 無職	池鶴瑞
同 上	丁義燮
同 上	宗仁涉

外に未就縛李載純、金龍錫、池錫規の三名ありと云ふ

●治道工事の着手期

本年度に於て起工すべき治道工事の內京城に於ける分は目下南大門外元度支部所管の溜池より南大門驛前に至る巾十五間の貫通道路の用地及び移轉家屋の坪數等調査中にて之れが終了次第起工の筈尙ほ他の一線は岡內部次官歸任の上決定する由にて地方に於ける分は烏致院、淸州間、天安、溫陽間は既に測量を終了し本月末より起工の豫定にて大邱より安東に至る線は目下測量中其他は順次着手の筈なりと云ふ

●荒井俵兩氏の迷惑

昨本紙欄外掲載荒井俵兩氏反目なる記事に付某消息通の語るところによれば今日迄に於て荒井俵兩氏間に土地調査事業に關し何等反目せし形跡なく俵氏をして副總裁たらしめしは氏が往年沖繩縣に任りて土地調査事業に從事したる經驗を有するを以ての故にて他に何等の意味あるに非ず且つ兩氏親交の間柄を知るものは該記事を一笑に附するのみなり云々

●地方行政視察方針

從來地方の行政視察は部分的にして統一を缺き爲に刷新の上に於ても不便を感ずる事鮮からざりしが當局に於ても大に猛省する處あり今後は具體的統一視察を圖る爲行政施設の觀察は固より會計、警察、土木等あらゆる方面に涉り普通なる視察團により視察を遂る筈にて既に先日地方視察の途に上られたる澤田局長は上叙數種の專門吏員を隨へたりと

●財務署取扱貯金高

其筋の調査に係る十二月末現在各財務監督局及財務署の取扱に係る貯金人員及其金高を擧ぐれば左の如し但し安東、新寧、高靈、鬱陵島は報告未達に付之れを省く(圓以下四捨五入)

別	金高	人員
監督局	八、七六四圓	一〇一人
財務署	五、一四七	二一六人
合計	一三、九一一	三一七人

●日英博覽會觀覽船

船主有志及び四五實業家の發起に係る日英博覽會觀覽船計畫は其後艤裝船との交涉略成り發起人は外務、日英博覽會當局の意嚮等をも質したるに何れも頗る其擧を贊したる由なれば愈々日ならず具體的に組織發表をなす筈也

●駐韓軍隊大送迎會

今回駐韓師團交迭するに付き京龍兩民團の有志合同して大送迎會を催す計畫あり場所及び時日は未定なるも右の計畫に關して古城、大久保兩民團長は十二日午後打合せをなしたる筈なり

●大久保大將午餐會

大久保大將は十二日正午より今回入京したるロビンソン氏夫妻を大觀亭に招待して午餐會を催したるが夫人は旅行の爲疲勞せしとて出席せざりしと云ふ

●道郡主事の新任數

近々任命さるべく目下手續中の地方道郡主事以下各吏員は其人員左の如しと
道主事二六、郡主事五〇、勸業技手一一、土木技手九、合計九六

●參與官の定例會議

十二日午前十一時半より參與官會議を開き石塚長官、小松、荒井、松井、菊地、岡本、松寺、中山の諸氏出席す

●副理事官の晩餐會

仁川理事官代理橋本副理事官は島村司令長官以下各幕僚及び各艦長を十二日麟樓に招待して晩餐會を催ふしたりと

●第二期暴徒討伐費

第二期暴徒討伐費は近日閣議に提出し豫備金より支出することになるべしと

●藤野君山氏雅會

目下入京中の史家藤野君山氏の漫遊談を聽くべく十一日午後五時三十分より天眞樓に於て雅會を催したるが出席者は石塚長官、小宮、俵兩次官、三島韓銀理事、菊地商工局長其他紳士二十余名にして東拓の岩佐氏は發起人を代表して挨拶をなしそれより君山氏の漫遊談ありて後ち宴に移り十一時頃全く散會したるが近來稀れに見る淸雅の會合なりしと云ふ

●統監府員の遠足

曩きに碧蹄館旅行に好成績を擧げたる地方部員は又も來る十七日の日曜日を期し第二回の探檢を旅行として南漢山踏査を試る由

●グール博士結婚

當地長老派宣敎監督の同氏は過日橫濱に於てセール孃と華燭の典を擧げたりと云ふ

●光濟號仁川出港

仁川在港の光濟號は十二日燈臺材料を積み釜山に向ふ

●群山日報の擴張

群山にて發行せる同新聞は近々紙面の大擴張を行ふ由

●敍任辭令

左の辭令ありたり
長野縣立長野中學校敎諭兼舍監 平井寬暢
任統監府中學校敎諭 七級俸下賜
長野縣立長野中學校敎諭 小林秀尉
任統監府中學校敎諭 同上五級俸下賜

遊廓問題眞相(續)

(本社龍山支局報)

野中推弘氏は記者に語りて曰く龍山に遊廓設置を許可したる理由は移して以て遊廓存續の理由と爲すを得べし而かも遊廓經營者が道敎遊廓地の擴張を請願したるは遊廓の存續に必要なるが爲めなりと云へり其果して必要なるや否やは各人の見解異なるものあるを以て今遽かに其當否を決する能はざるも予は姑らく切實に利害を感ずべき位置に在る經營者の言ふ處を以て理由あるものとせり然れども居留地全體の上よりして衛生、風紀其他の事情を斟酌し遊廓地擴張の是非を論ずるは自ら別個の問題に屬す予と雖ども亦卑見無きにあらざれども民團の利害休戚を最も正確に看取し得べき民團理事者が之れを是認したるに依り予は遑も亦私見を挾むべきにあらずとしたり斯の如く遊廓經營者は其地域の擴張を必要として當路に其認許を請願し民團理事者も亦之れを是認したりと聞き更に調査委員の意向を聞合せたるに民團理事者の意見と略ぼ合致せるを確め得たり於此予は一居留民としての立脚地よりして公平に事の是非を判斷するの義務を了へたりと認め直ちに遊廓經營者畑彌右衛門の知人をして其の願意の聽許せられんことを希望するに至れり然るに民長は畑の請願せる處は債權者たる勸農會社之れを希望せざるに依り先づ兩者が意思疏通して圓滿なる解決を告ぐるを待たんとて既に召集の通牒を發したる議會の開會を延期したり予は之れを聞きて事の意外に驚きしかも是は民長が職權の行使とて吾等の如何とも爲すべきにあらざるを以て民長に面會し如斯あらんことを告げ更に畑の爲め同時に居留民會の威信を奈何愼重に考量する多數債權者の爲めに謀るに債權を株式に引直したる會社を設立し遊廓の經營を爲さば少くも年五分の配當を爲すを得て債權者の損失を輕くし債務者も亦義務を果すこととなり一擧兩全の策は之れを措いて又他に求むべからずと思考したり依て此の意を畑に通し其依賴を受けて勸農會社其他重なる債權者を訪ひ前述の意見を陳べしに何れも同意を表し同意書を作製して予に交附したり然るに議員林氏は其同意書の効力を疑ひ決議延期の動議を提出し動議成立して決議延期となりたるは貴紙所報の如し誠に遺憾に堪へざるも斯る不思議なる現象は吾等凡夫の如何ともし爲るなし唯人事斯の如きもの即ち常態なるやも知れず云々(未完)

京城貨物集散(二)

▲米 四十二年內總輸出高は五百三十三萬圓內京城に於ける集散高は五百五万八千餘圓其內輸出は七十一万九千圓輸入四百三十三万九千餘圓一昨四十一年に比すれば優に倍額以上に達せり是從來沿岸及各河江の水運により各地に輸送したりしを昨年來米價の下落に伴ひ直接其の產地に出張する者頗る多く自然京義線道を利用する者多きを加へ平安黃海方面に於ける米穀は悉く鐵路便により事となり爲に當地に於ける集散額の激增を見るに至れり亦た當地輸出貿易の如きも稅關交通の整頓に隨れ將來目覺しき發展を睹るに至るべし

▲麥 同總額六十六萬九千餘圓內京城集散額は三萬四千餘圓に過ぎず元來本品は當地より輸出する物寡く多くは陸軍馬糧に供給するのみなりしが米國の昨年麥作不良の爲め母國製粉業者に多大の需用を生じ輸出上最至便なる釜山方面に吸收されたりしを以て當地に搬入する者多からざるにも係はらず尙ほ二萬圓の輸出を見たり

▲大豆 同上三百五十一萬四千余圓內京城集散は僅に八万圓本品は日韓人の單に醬油釀造用に過ぎざりしが近年に至り稅關設置と共に多少の輸出を試むるものあるに至り漸次集散增加を來し殊に滿州大豆歐洲輸出盛況に伴ひ本國に於て俄然韓大豆の需用激增し意外の輸出を見るに至りしが當地に於ては本品取扱者の無き爲め大なる輸出を見ざりしと雖も今後の增加は疑を容れず

▲牛皮 同上八拾一萬五千餘圓內京城拾七万四千圓なりし地方よりの移入に係る者一ケ年僅かに三萬二千餘圓を超ねざりしも輸出は拾四萬千餘圓を算し當地に於ける屠殺數は拾壹萬圓にして其集散は年と共に增加し前途頗る有望なり(未完)

●菊池博士と大勳位

瀕死の李完用氏を診察して治療の功を完ふしたる博士菊池大韓醫院長の手腕は吾が刀圭界の大名譽として誇稱すべき次第なるが現に神農遺業の外何等生命を托すべき醫術なき韓人は此成績を聽いて驚嘆せざるものなく今や菊池博士の名聲は神の再現の如く尊崇せらるゝに到れり然れば博士に對する頌德に就てはそれ〳〵相當の詮衡あるべき由に聞き及べるが博士は其通達の遲きをもどかしく思ひ或時部下を使して閔宮相に會見せしめ予が勅命を奉じて李首相を治療せるは一般の知る處なり而してさしもの重傷を全治し國家の重臣を救ひたる予が盡瘁は卿の諒知する處なるべし即ち國家の重臣を救ひたる予が功績は騷動中の殊勳に屬し恰かも勅命の下に砲火と戰へる軍人と毫も輕重なきを確信す此殊勳に對する韓帝の恩賞は必ず相當の詮議あるべきを信ずるが予をして忌憚なく希望を開陳せしむれば伊藤太師の次に位すべき大勳位是なり閣下乞ふ之を諒せば速かに閣下に奏請して叙勳の御取計ありて然るべしと臆面もなく語れるには流石の閔丙奭も呆然措置し居れり尤も孰れ近々曾禰統監に照會して博士の希望を開陳し其承認あれば直に叙勳さるべしと云ふ(電通)

●南大門外道路改造

同道路改造の方針に就き當局に於ては現在の南門及南門驛間の道路は其儘とし更に西方の裏手に幅十五間に亘る一新路を劃し南門より稍や斜に驛に通ずべく既に實測を終りたるが是に就き早くも所要地域を買收する者鮮からずと傳へらるゝが當局に於ても買上額に於て不當の高價を唱ふる如きあらば臨機既定の方針を變更するやも計られずと

●蠶業傳習所の改良

大邱蠶業傳習所にては本年度は大に傳習方法に一步を進め諸事改良の方針にて先般來蠶具の新調傳習生收容所の增築等に取急ぎしが設備全く成り且傳習生も從來に比し其人物を精撰する筈にて約定員に近づきたれば滿員次第入學試驗期日を定めて入所せしむべしと

●榊原憲兵隊長巡視

十一日午後三時榊原憲兵隊長外隨行員藥師川高級副官山形分隊長石井主計村田中尉等巡視の爲め峯洞分遣所に至り宿舍及厩舍等內外を巡視し午後四時終了

●ロ氏出發期は未定

ロビンソン氏一行は來る十四日出發の豫定なるも夫人微恙の爲め十二日大久保大將の午餐會にも缺席せし位なるを以て從つて其出發期は未定なりと云ふ

●中學校の入學試驗

統監府立中學校は來十五日、十六日の兩日入學試驗を執行する筈なるが志願者は十四日午前九時同校出頭すべしと

●島村中將等の歸艦

島村第二艦隊司令長官以下艦長幕僚は十一日午後四時十分南大門發にて歸艦

●艦隊乘組員の入京

第二艦隊乘組將校以下五百名は十二日午前八時五分仁川發列車にて入京せり

●各分隊長等の出發

憲兵分隊長會議の爲め入京中の各分隊長は十二日各任地へ向け出發したり

●海部巖氏の來京

報知新聞釜山支局長海部巖氏は京釜沿線及び京仁間視察の爲め十二日朝入京し同社京城特派員の武田卓爾氏方へ投宿したりと云ふ

●陸軍吉氏の入京

咸鏡北道警務部長の同氏は十一日入京浦尾旅館に投宿

●飯田庸氏の出發

慶尙南道警務部長の同氏は去る十一日出發歸任したり

●デビツトソン氏

度支部關稅局の同氏は新夫人と共に數日前歸城したり

●馬山民長の來龍

馬山民長前田榮一氏は十一日來龍太陽館に投宿したり

●岡村所長の歸任

龍山滯在中の同鐵道管理局平壤建設所長は拾二日歸任

●三好つた子死去

當地米倉町三好和三郎氏の母堂つた子は十二日午前永眠されたるが葬儀は十四日午後三時自宅出棺南山本願寺にて執行すと云ふ

▲治外法權▼

馬山商業會議所は遂に解散を決議し其筋へ解散認可の申請に及んだソーだ、ソーして同時に民團役所內に商工課を置くことにしたソーだ、民團役所が今日の樣な組織になつて仕事をすれば會議所なるものに用の無くなるのは必然だ、用事の無い會議所へ費用を掛けて會頭だの議員だのと空名を並べて置いて何になるか、之を以て見ると馬山の會議所解散は至當を得た措置だ▲會議所無用論は平壤大邱兩地にも在つた樣に思ふ、否な現に我京城にも在る樣に思ふ、公共心に厚き中村會頭の如きは他人に先立ちて會議所廢止論を唱導すべきである▲曾て米國へ遊學した在京の紳士は今度米友會と云ふものを起さるゝソーだ、併し只紳士の企には記者は贊成する、併し只無意味に會合してハイカラガッた許りでは世の嘲を受くるに過ぎぬ、ドーか紳士が小人數なりとも一團體となりて社交的に日米人の間に盡さんことを希望する、會員として單に遊學者と云ふ狹き意味に非ず、彼の米友協會の如く遊學者以外の紳士にして米國に遊びたるの人々をも包容せんことを希望する、同時に韓人支那人米人は勿論其他の外國人をも包容せんことを希望する▲鴨綠江架橋協約に韓國汽車の滿洲直行を承認せぬとあるソーだ、淸國政府がソンな氣の小さな事を言ふ筈はない何かの間違だらう▲日本人の仕てやる事でも種痘丈には韓人が信用して歡迎するソーだ、之は其有難味が眼前に判かるからだ、記者は日本人の對韓人施設が万事種痘式にならんことを希望して止まぬ。

名妓洗髪のれ妻(六)

▽花の方では萬玉齋一聲
▽妾は嫌な藝者ならする

妾なんぞには決してなりませんと私は口を切りましたが、れよねは中々承知しさうも無い、今更其んな事を御用人に云へるものか、其の上三百圓といふ御金を受取つてゐる此金も支度料といふもの、貴雄さんから御前を引取つてから御前の身には幾何御金が掛つてゐると思ふ、御前が喰つた御金は何處から出るのだ、其上ならず妹のますちやんも私ア娘のやうに思つて育てゝゐるのだ、私ア可愛い御前達姉妹の爲めに惡いやうにはせぬから、私に任して見たり威して置きといつたやうな調子で賺して見たり、手を盡し品を換へて後の妾にしやうとしたのですが、私は夫れア頭から聞きませんで斷然と刎ね附けたのです、といふのも私は此時分の考へで人の妾程賤しいさもしいものは無いと極めてゐたが上に、貴雄と分れてからいふものは幸に生花の方だや萬玉齋一聲といふ名前も持つてゐましたから、獨り立ちするに苦るしくはないと頑ぢや思つてゐたのでしたし又た本所の今井といふ本所切つての有名な產婆が心易かつたので、何うも爲らぬやうならば今井さんに頼んで產婆を覺ゐやうとまで決心してゐたのですから、れよねが何んと云はうが聞かなかつたのです▲れよねは御用人から受け取つた三百圓の御金は使つて了た、今れ前が御妾に上らぬといつても拔きしの出來ぬ事になつてゐる貴賓御妾に上るのがよく〳〵嫌厭ならば三百圓の金を耳を揃へて御出なさいといふ御芝居になんかある例の手なんですが、生附ての我慢が私にあつても年端もいかぬ娘で其上其迄の事が事でしたから其當時は夫れは〳〵心配しましたよ、仕方が無いから夫れなら妾になるのは死んでも厭ですが、藝で賣る藝者ならばなりませうし三百圓許の御金なら出來もしやうと私がフイ口を滑らして了つたのです、後になつて考へて見ると此一言が私の身が飜燈返しに引操返ると云はゞ紙一枚程な境目だつたのですね▲其んな事云つてる間に、本人を差上げると約束した日が段々と近づいて來る私は妾は何うしても厭、藝者ならばと言張つてゐるので、れよねも考へたのでせう、何うせ末は美て喰はうか燒いて喰はうかと目論見んでゐるのですから、私が藝者にならうと口を滑らしたのを機會に、夫れなら藝者になれといふ事になりました。

李在明起訴さる

▽李總理大臣を刺せし
▽連累者十三名に及ぶ
▽公判開廷期日は未定

李總理大臣に對し兇行を加へたる李在明以下連累者に對する檢事の取調は十一日を以て全部終了し地方裁判所係檢事伊藤德順氏は十二日午前十一時を以て正式に起訴の手續を了せり檢事の起訴狀左の如し

起訴狀

平安南道平壤郡平壤城內基督教徒 李在明(二三)
同道同郡三巨里基督教徒 金貞益(三一)
同道同郡平壤城內壺井洞元明治大學中學科生徒 朴泰殷(十九)
同道江東郡晩達面廣岩里大韓醫院附屬醫學校生徒 呉復元(二五)
同道同郡南水口內陸興面生里材木商基督教徒 金泰善(二三)
同道同郡東村酒商私立學校教師 李應三(十九)
同道同郡內島商藥行商基督教徒 金丙錄(二七)
同道中和郡見東面天道教大韓醫院學校生徒 金龍文(二〇)
同道平壤郡平壤城內基督教徒逃走中 趙昌鎬(二五)
平安北道定州郡馬山洞商亭里酒商基督教徒逃走中 李東秀(二六)
平安南道平壤龍潤面九里農 金東銓(二三)
同道同郡同面柳洞基督教徒 李學泌(二五)
同道同郡同面三里下雉洞私立照興小學校教師 金履烝(二七)

起訴事實

一被告李在明は數年前米國に渡航し勞働に從事したるも去る明治四十年十月歸國し爾來屢々締結せられたる兩度の日韓協約を以て韓國の爲めに不利益なりと誤信し常に之を慨慨し居りたる處明治四十二年十一月頃に至り一進會は進んで日韓合邦を主唱し近日聲明書を公表し其運動に着手せんとする事實を知りたるを以て被告李在明は既に兩度の協約を締結したる內閣總理大臣李完用は今回も亦合邦の協約を締結するに至るべしと豫想し此際寧ろ李完用を殺害するに如かずと思惟したるより茲に李完用殺害の陰謀を逞しうし同年十一月中京城に於て被告呉復元金龍文の兩名に陰謀の同志者に加入すべき旨を勧誘したる處孰れも之を承諾したり然るに被告李在明は兇行を實行するに就ては他の同志者をも糾合する必要を感じ同年十一月下旬頃平壤に赴き同月下旬より十二月上旬迄の間に於て被告朴泰殷方に被告金貞益、李東秀、金泰善、李應三等を招き李完用殺害の陰謀に加入すべき旨を勧誘したる所被告金貞益は豫て一進會々長李容九を殺害すべき陰謀を逞り居りたるが故に李完用を殺害するよりは却て日韓合邦の主唱者たる李容九を殺害する方得策ならんとの意見を述べたり此に於て協議の結果遂に李容九、李完用を同時に協力して殺害する事に双方の意見一致し列席者一同も亦其意見に賛成したるを以て引續き集會々合を催し居りたる所被告趙昌鎬も被告李在明、金貞益等が前掲の陰謀を企て居る事を知りて進んで其同志者に加入するに至りたり而して凶行の實行に關しては被告李在明、李東秀、金丙錄の三名は李完用殺害の任に當り被告金貞益、趙昌鎬の兩名は李容九殺害の任に當るべき事に協定したり然るに被告呉復元も亦被告李在明に後るゝ事僅に二日にして平壤に來りたるを以て被告李在明は愈よ李完用、李容九の兩名を同時に殺害する事に決定する旨を告げたる所同人も直に之に同意せり(未完)

●頑迷な親思ひ　忠南公州郡正安面古弓院崔炳翼(二六)は昨年十月當京城に於て實父がコレラ病にて死亡し光熙門外の墓地に埋葬しある事を聞き其の筋に願出で遺骨を郷里に持ち歸り度きに付堀出許可を乞ひたるに傳染病死亡者は三ヶ年を過ぎざれば許可出來ざるとの事に不法にも十一日夜九時頃闇に乘じて右光熙門の墓地に至り自分の妹婿たる北部居住の姜寛植に依頼し二人の人夫を雇ひ掘出に着手せる處を韓人巡査に發見され姜寛植外二人は捕へたるも崔炳翼は現場より逃走し姜寛植外二人は目下銅峴分署に於て取調中

●仁川の横領事件　仁川製鹽所は昨年五月今戸吉次郎氏の計畫に係り爾來同氏外三名の組合事業として經營し來りしが今回同組合員の一名なる朝倉外茂録氏が同所伊東技師と共謀し前記今戸吉次郎氏に對する五百圓の償權あるを好材料として權利横領の魂膽を凝したる結果茲に端なくも今戸對朝倉氏の間に葛藤を生じ紛料に紛料を重ね何時解決すべくも見へぬより昨日同地名望家其他立會の上互ひに理のある處を主張し是非曲直を明にしたる筈なれば其眞相は更らに詳報すべし

●子の懸親の怒り　韓人は一般に早くより色情に發達する由なるが當町居住李東漢の內に居住する李東讃と稱する韓學生は壽洞興化學校內に居住する除般弼の娘除召吏(十四)と情を通じ夫婦の約束を結びし上李東漢より李東讃に對し婚禮式の通知狀を發したので李東漢はビックリ仰天早速李東讃の家に至り怒鳴り込み俺れの娘は貴樣の如き奴とは結婚させる事は出來ぬとて爭論を惹し遂に警察沙汰となり中部署に双方を呼出し說諭を受けたりと

●小供の喧嘩に親　仁川花町居住の大工職奥谷慶次郎娘(八)が一昨日午後六時頃同町道路にて遊戯中濟州島生れの韓人高龍河(一四)なるもの通り合せ弄れしより慶次郎は額に青筋を出して怒り龍河の頭部を滅多矢鱈に殴打せしかば血塗となり其旨花町派出所に訴出でしかば係警官は右慶次郎に大目玉を喰はす

●通り掛りに盗心　京城南部上犂洞老人亭住人力車夫金延成(二九)四月八日午前九時大和町二丁目百四十九番戸石田つる方の裏門通行の際同宅內に財布の捨てあるを見て之れを窃取せしに金子二十五圓在中せしかば大に喜び直ちに若草町韓人酒屋に至り一杯飲んで居る所を筆洞分遣所の憲兵に探知されて捕へられ取調の上檢事局に送らる

●全南の海賊横行　全羅南道濟州島東村韓元京外數名は傳馬船に鍋及び牛皮を積載し忠南、江景へ航行販賣して歸行中本月一日午後十二時頃全南智島郡古群山面飛鴈島沖合に於て海賊の爲めに現金五十七圓餘外に物品數多を強奪せられたるにより其筋にては警備船二隻を派遣し目下捜索中なりと云

●仁川に牛疫發生　仁川宮町三丁目迫口佐一郎の飼養に係る飲料水運搬用に使用せる牡牛一頭は一昨日牛角洞の小屋內にて炭疽熱に罹り死亡せしかば嚴重に消毒したりと

●浮浪者拘留處分　大阪市北區天滿八百九十三番地平民渡邊鈴吉は前科數犯の惡漢にて滿州地方を流浪し何する仕事とて無く渡韓各所を徘徊し其の筋の注意物なりしが去る十日南大門通りを彷徨せる際警官に認られ西部署に引致取調の末一定の住所職業を有せず諸所を流浪するものとして拘留十五日に處せらる

●南部管內の火事　十一日午後六時京城南部誠明坊晦洞五十七統七戶崔鳳燮方より出火同六時二十分鎭火せり原因は過失損害十餘圓なりと

●刑事巡査の交迭　北部警察署刑事橋口啓氏は昌德宮、昌德宮在勤今瀬金太郎氏は北部署へ交迭せり

筑前琵琶演奏會寸感(下)

牛島魚人君の常陸丸では泣かされた但し一つは巧手だからでもあらふが多くは其の當時の記憶を新にしてであつたと思はれる。鶴崎流の特長か筑前特有の派手な、賑かな、——聴く云へばチヨンガレの如な、御詠歌の如な流しが少ないのは或る人には物足りなかつたらうが僕には嬉しく感せられた。僕の筑前を好かぬのは此れあるが爲めであるのだ、併し好かぬから惡いとは云はぬ、取り違へられては困る。

韓錦の和田子那須の興市に講座を唸らせ直見子の川中島又非常の喝采を博した、夫れが僅かに六ケ月間の練習と聞いては上達の速かなる、驚かざるを得ぬ、水產會社の伊熊夫人の小督の下面白く聞かれたるも聲に氣を取られて曲中人物の品格を忘れられたる如思はれ何所となく物足らざりし、大韓日報の岩本氏の平野國臣立派な出來なり、次が松尾夫人の左馬之介の湖水渡し、實は之れが僕の當日の天下分目である、此れ迄何遍か聴きに來い〳〵と勸められたるを辭退したのは中毒すまいとの遠慮からであつたが、扨て聞いて見ると案外の巧手、拙手だらうと思つて聞いた反動も少しは手傳つたらうが聲に幅もあり撥捌きと云ひ物語りと云ひ立派な出來難を云へば節に艶なき一事ならんか井上師の撥捌きの輕妙多く比を見ず物語りも莊重にして難なし、少々聲帶には故障ある樣見受けられたり。た隆で琵琶も又聞く氣になつた。井上夫人などのは大きく派手で此の一派のは深く地味だ、當日の演し物は少々當を失して居た、人情物がモ少し欲しかつた。

此れより以上正直に云へば正直の頭に髪を留らす坊主になつて謝ねばならぬ、呵(紫生)

●諸國盆踊唱歌評(十二)

▽昔流行の唱歌でムる
▽花も實もある優しさ

肥前の部

「げんが弟はヤアレ　すなぢのごんばねそこほらすてあらはするよグンコベ」
「やぶのなかのきち〳〵はうすはなしよどなくぞれやがないか子がないかれやも子もござるけれどもればごのかへかたびら一枚かりにいた」

頭取「テナ所は如何です」肩が張りやす
惡口「日本語を放れて居る所が面白い」
李「土地の者にヤア面白いんだアよ」
藤「一向面白くない」
蚊士「いかにも」

「たまんの殿倉に釣鐘堂が出來て　けふもくれめか六つのかね」
「平戸小せざから舟が二艘見ゆる　まるにやの字の帆が見ゆる」
「させばれさへる押へばのめす　のめば其身のあだとなる」

總代「平戸小せざは面白き因あるべし、されど我等には面白からず、させばの歌も可ならず頭取も少し判る所をたのむ
頭取「さらば次は淡路の國

老母津た儀兼て病氣の處養生不相叶本日午前八時龍山病院にて死去仕候間此段生前辱知諸君に謹告仕候
追て明後十四日午後三時自宅出棺兩山本願寺に於て葬儀執行仕候
明治四十三年四月十二日
親戚　三好和三郎
　　　丸野宇之助
總代　中村政次郎
友人　增本茂三郎
總代　山口太兵衛

제381호　1910. 4. 13.

美術半襟帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九
ゑり徳商店

廣告

木材賣却廣告
一 鴨綠江松材現木
一 長サ八尺五寸以上二間半
一 尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目
建築業 柴田芝六
電話五百六十八番

電話一一八二番
きちや
金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱極めて安全に一定の場所に保管す
京城南山町
大槻商行質部
流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

馬車配達
滋養と牛乳
純良 牛乳
京城南山町
岡野牧塲
電話壹〇六九番
衛生と消毒

入院隨意
內科 外科 小兒科 花柳病 梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
院長 陸軍々醫正 高井貞治
電話(三二六)

各科診療
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
入院隨意

弦齋流割烹並に歌舞伎辨當
材料の豐富と技倆の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候
京城南山町一丁目
さはみ
(電話一五〇二番)
出前の儀は電話又は一報次第即刻持參可致申候

內科 小兒科
入院隨意
京城日の出町小學校前
多々見醫院
電話九百四十番
前大韓醫院醫官兼同附屬醫學校教授
從七位勳六等 醫學得業士 院主 多々見九郎

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話 長一二三番 四九二番
日本室和食
特等(壹圓五十錢 三圓)
一等(壹圓五十錢 二圓)
二等(壹圓八十錢 二圓)
三等(壹圓六十錢 壹圓五十錢)

廣告
各位益々御清穆奉賀候陳者弊店江湖御得意様の御引立を蒙り御蔭を以て日に月に隆盛に赴き候段深く奉鳴謝候何卒今後とも倍舊の御愛顧奉希上候
就ては來る四月六日は當店主渡韓十五周年に相當し六月十一日は恰も當京城へ入京の當日に有之候間聊か自祝を兼ね紀念の爲め右期間內左の方法に依り抽籤を以て景品付大賣出し可致候に付何卒賑々敷御來店の榮を賜り度此段奉希上候
一、景品總金額二千圓
一、景品券は御買上金額二圓毎に一枚を呈す
一、景品券進呈期間は四月六日より六月十一日迄とす
一、抽籤は六月十二日正午廣告しある各新聞記者並に御得意様三名の御立會を乞ひ日本人商業會議所樓上に於て施行す
一、景品券引換期間は六月十三日より同三十日正午迄(弊店に於て引換可致候以後は無効とす)

一等 白米(五斗入)五十俵 三百圓
二等 十八金金側時計 一個 百三十圓
三等 竹內鋼鐵六號金庫 一個 百十圓
四等 純金四匁指環 一個 二十八圓
五等 朱珍丸帶 一本 五十圓
六等より九等迄 總桐東京簞笥 各一個 三十圓
十等、廿等、卅等、四十等、五十等 竹內鋼鐵八號金庫 各一個 五十五圓
六十等、七十等、八十等、九十等、百等 十四金女持金側時計 各一個 五十圓
十五等 廿五等 三十五等 四十五等 五十五等 六十五等 七十五等 八十五等 九十五等 上等御召 各一反 十八圓
十一等より十四等まで 仙德瓶掛 各一個 十二圓
十六等より十九等まで 本セル 各一反 八圓
廿一等より廿四等まで 姿見 各一個 七圓
廿六等より廿九等まで 白米(五斗入) 各一個 六圓
卅一等より卅四等まで 絹張洋傘 各一本 五圓
卅六等より卅九等まで 手提金庫 各一個 四圓
四十一等より四十四等まで 蒸氣アイロン 各一個 三圓五十錢
四十六等より四十九等まで 掛時計 各一個 三圓
以下空籤なし

五十一等より五十四等まで／五十六等より五十九等まで 手提金庫 各一個 二圓
六十一等より六十四等まで／六十六等より六十九等まで 鐵瓶 各一個 二圓
七十一等より七十四等まで／七十六等より七十九等まで 水差 各一個 一圓八十錢
八十一等より八十四等まで／八十六等より八十九等まで 南部胴子五德 各一個 一圓四十錢
九十一等より九十四等まで／九十六等より九十九等まで 釣鏡 各一個 一圓
百一等より二百等まで 桐箱入紀念盃 各一組

和洋金物商
京城本町五丁目
藤本藤次郎本店
長電話四十五番 振替貯金口座韓國二五六番

諸荒物世帶道具一切
其他和洋蠟燭 アサヒ サッポロ ビール 精白米
右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
京城本町六丁目
日用雜貨 卸問屋 西崎嘉七本店
(電話二一〇 電署(二カ)) 振替貯金口座韓七番

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山鹽合資會社食鹽特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京橋南鍋町一丁目十番地(電話新橋三六九二)

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際「祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層販路擴張の目的にて「タバン」懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも卸直段にて販賣することゝ相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間續々御購求の程願上度此段廣告候也 敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
仁川本町三丁目(電話七〇五番)
時計卸商 喜多金光堂本店
京城本町二丁目(電話一〇二五番)
時計卸小賣 喜多金光堂支店
京城本町一丁目憲兵分遣所前(電話一三一八番)
右特約店 金化堂時計舖
京城本町四丁目角
右特約店 中村時計店
各地方より御注文は發送費自費中受候

明治廿年七月創立
東京火災(海上 運送)保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

金魚各種 卸小賣
陸軍御用達
龍山山下町一丁目(兵器支廠官舍入口)
馬木勇吉本店
電話三六四番
茶器商
京城本町五丁目一番戶角
馬木勇吉支店
電話四七一番

東京 足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場內ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

京城鐘路い喰物は何んたろー！
裁判所前の洋食店 鐘路軒の
松茸めし
酒一本 外和洋料理五品付 一人前六十錢
又 和洋料理和洋食北辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる極く便利ですよ
價が安くてうまくてはらこたまるよ皆さん一度たべてごらんなさい
電話壹四二九番
客用有ます
◎監獄辨當の差入も引受ます◎

最上醬油
仁川港
釀造元 三巴醬油釀造場
電話七壹参番
●京城本町壹丁目
發賣元 三巴酒店
電話七五三番
●龍山本町三丁目
發賣元 三巴酒店支店
電話五六四番

營業品目
琴、三味線、尺八
洋琴、鐵琴、横笛
月琴、明笛
三味線張替修繕並に小道具類は特に大勉强
壽町三丁目(本町五丁目郵便ポスト前)
米川三味線店

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主 醫學得業士 中島貞信

龍山榮町
質屋
青竹薪炭
ガラ石炭
蒲團蚊帳
角屋

●北越及西陣絹織物直輸入
●京都美術御染物誂け元
龍山老松町九〇取次電話三一六
越後屋商店
御報次第參上仕候月賦提供の便法あり

特約販賣 自製
一味醂醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
支那白菜漬
朝鮮菜葉漬
大賣出し
(電話二五一番)

移轉廣告
會席御料理
弊店儀開業以來各位の御引立に預り日增しに隆盛に赴き候就ては從來の家屋にては手狹を感し申候に付左記へ移轉致し大勉强にて料理は十分に吟味致し候間何卒御光來の程伏して奉願上候
京城旭町一丁目(元笠目榮吉跡)
葉櫻
電話二〇七番

神戶資生分院
◎花柳病專門並、痔(注射療法)
●入院隨意●
京城梅毒病院
京城相生町(南門湯横)
(電話一二九四)
院長 醫學得業士 蘆田辨(?)

京城明治町二丁目(佛國教會前)
辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

ゑし道樂
鯛 松たけめし 一人前三十錢
あなご 竹の子めし
鷄 ゑんどうめし
たなし たなしく たなじく
兼てなじみの大阪美人、御光來の程を待ちかねて居りますから、御賞味を賜はりたう、肉は多少によらず出前も仕ります、呉々も御用命伏して御願申上げます
大和町三丁目
梅の家眞向ひ
電話七三五番
明月

會席御料理
北米倉町 電話千六百二十四番
品川樓
各位の御引立に依り日々繁昌仕候段誠に難有奉存候就ては聊か御眷顧に酬ゆるの方法として今般東京淺草ロックにて有名なる岩壽しの名人を板塲に雇入れ候に付き花見御遊山等の御壽し御辨當は至極御手輕にて精々相働き候間何卒御用仰せ付け被下度願上候